

中央教育審議会初等中等教育分科会（第138回）における 主な意見等について

【(1) 教育委員会の機能強化・活性化のための方策関連】

- 教育改革を進めるに当たって、教育委員会の組織そのものの役割は非常に重要だが、そこで業務を担っている指導主事が激務であると承知している。これまでの行政職的な能力に加えて、指導主事に求められる能力が拡大、高度化していっているように思われるが、指導主事についても勤務の実態を把握していく必要があるのではないか。
- 教育委員会に所属したときには、教育に造詣の深い職員とそうでない職員に二分され、それはそれで議論が深まるという側面はあるが、教育委員会事務局のキャリアパス（教育行政職）についても、一定程度、早く導入することが望ましい。
- 民間人校長の仕組みがあるように、例えば、教育委員会の事務職が校長になっても良いと思う。民間の方に加えて行政の方も学校に入ってもらい、施策と現場の往還ができる形になっていくのが望ましい。
- 教育委員会の在り方について議論するときに、「令和の日本型学校教育」についてどう位置付けて考えていくのかは今後議論を深めていただきたい。特に、今回、「令和の日本型学校教育」を担う教師の養成・採用・研修等の在り方についての答申が出されたが、教育委員会にかなりラブコールをしているようにも思う。本答申を受けて検討を進めていただきたい。
- 教職員支援機構は、来年度に向けて、教育委員会の事務局職員を対象とした新たな研修を現在模索しているところであり、こういったことも活用いただきながら、教育委員会と学校が一緒になって、よりよい豊かな学校をつくっていく、子供たちの教育に資する学校にしていくということを、ぜひ考えていきたい。

【(2) 教育委員会と首長部局との効果的な連携の在り方関連】

- 総合教育会議をしっかりと開催していこうということが盛り込まれたことは大変よかったと思う。危機管理について、教育委員会と首長部局が連携して対応するための支援等にしっかり意を用いていくのが非常に重要であると考えており、今後検討を進めていただきたい。

【(3) 小規模自治体への対応、広域行政の推進のための方策関連】

- 理想とする姿を描いていくことは引き続きやっていただきたいが、リソースがない地域や学ぶ機会が少ない地方の行政職員に対して国としてどのような支援ができるかを明確に示せると良いのではないかと。教育行政も高度化していき、新しいものも取り入れなければならない状況であるため、それに対して国は何ができるのかというところまでぜひ審議を深めていただきたい。
- (3)の「デジタル技術の活用」について、GIGAスクール構想の関係もあり、設置者としての教育委員会の役目が非常に重要になっているかと思うが、現実には、GIGAと同じ端末を教育委員会の指導主事が使ったことがない事例や学校に与えられている端末のクラウド環境が役所からは使えない事例等がある。教育委員会の指導主事の方々にICTの感覚等をきちんと身につけていただくようなことをより一層加えていただきたい。
また、ある地域で常識だと思っていたことが、他地域で既に突破していたりすることがあるため、他地域の教育委員会の指導主事と連携した研修等について、できるだけデジタルで出来るような環境整備等を検討いただければと思う。